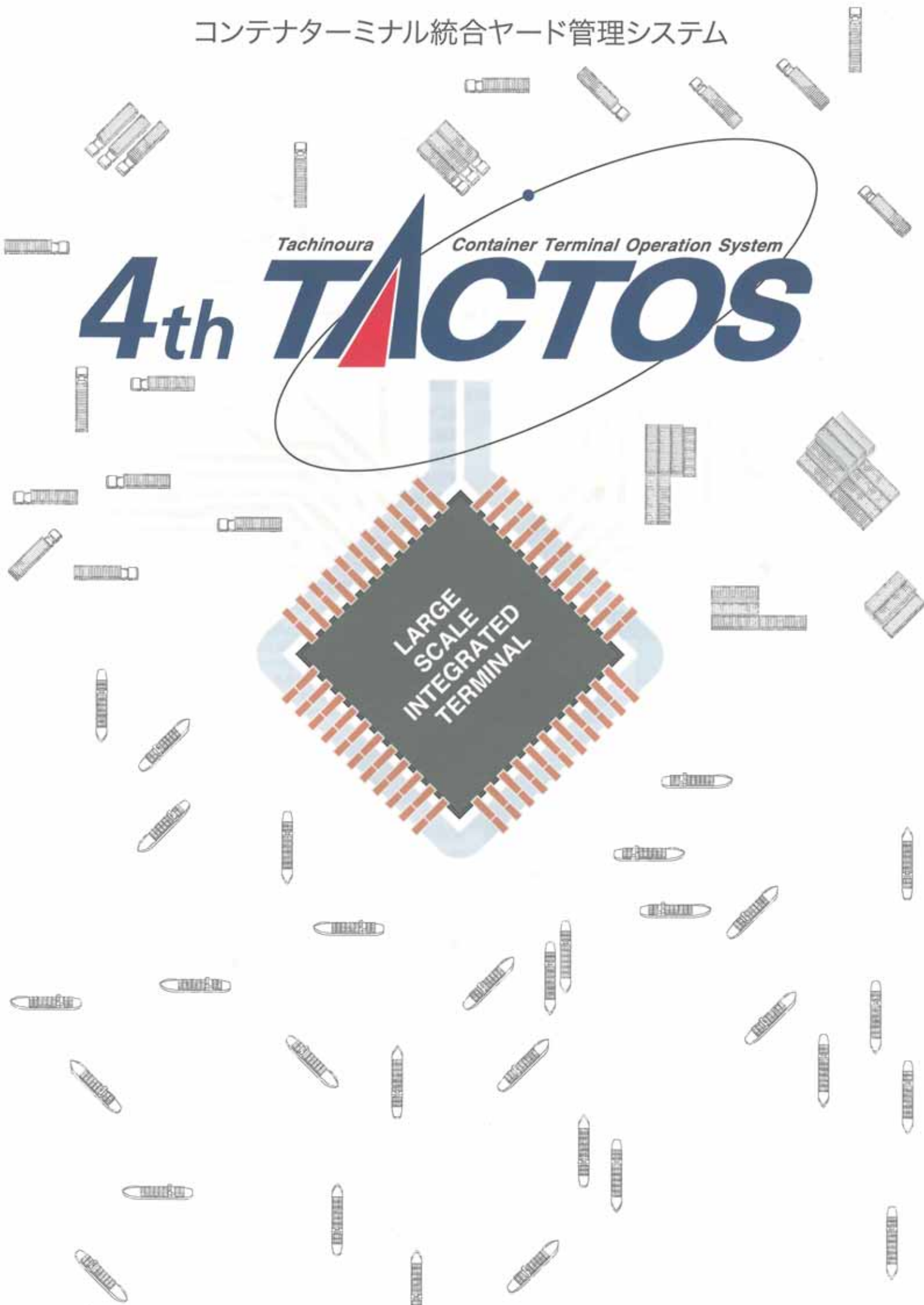


コンテナターミナル統合ヤード管理システム

Tachinoura Container Terminal Operation System

4th TACTOS

LARGE
SCALE
INTEGRATED
TERMINAL



最新のネットワーク技術と情報ツールが支援する、ターミナルの効率化と最高品質の管理業務。



- リアルタイム情報管理
- EDI(データ連携)
- 蔵置管理の自動化
- ゲート搬出チェック
- ターミナルの共同化
- 資源の有効活用化

- 高機能ターミナルの実現
- 安全・確実なターミナル作業
- ターミナル共同運営化の実現

ネットワーク技術と情報ツールを活用、スピーディな港湾サービスを提供します。

情報一括管理により業務を正確迅速化し、セキュリティ・セーフティ体制を推進します。

業務システムの一元化、諸資源設備の共有で無駄を省き、ターミナルを効率的に運営します。

CY業務システム

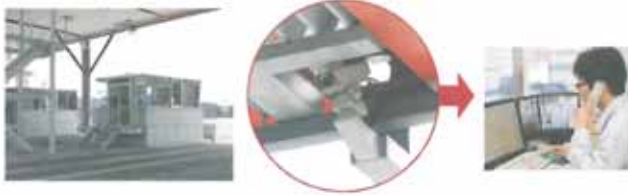


管理システム

- CY船情報(自港船及び他港船、共配)
- 輸出入情報(M/F・BOOKING及びコンテナ)
- 輸出コンテナのD/O、フリータイム、ピックアップオーダー
- 回送コンテナの搬出入
- CY検査(動検、植検、税関、燻蒸、冷凍、X線)
- 積み卸しコンテナリスト(仮番振り当て機能)
- 税関提出用の輸出入保税台帳の作成
- コンテナインベントリー
- コンテナ作業履歴(6行為管理)

ゲートシステム

- 搬出入コンテナのEIR出力
- 輸入コンテナのゲート搬出許可チェック
(D/O、保税許可、フリータイム、ピックアップオーダー)
- 輸出コンテナのシールNo.とG/W、REMARK情報のチェック
- TP(トランスファーポイント)へのトレーラー搬出指示
- チェックマンによるハンディターミナルでのダメージ入力
- ズーム回転カメラによるコンテナダメージチェック



さまざまな端末からの多岐的アクセス

携帯電話から搬出入許可と予約を入力したトレーラーはスムーズにゲート通過できます。ゲート配置員の代わりに海コン専用端末を設置しました。コンテナダメージは現場のゲートチェックマンがハンディ端末に入力、オペレータ端末からEIRを印刷するなど、端末利用環境を拡大し運営効率を高めています。



トレーラー毎にTACTOSカード(SONY製ICフェリカ)を発行、ゲート搬出入業務の管理にあわせて、セキュリティチェックにも活用しています。カード情報はセンターで一括管理し、将来的には、他港トレーラーとの連携を目指します。また、操作端末機には国際条約で今後の規制強化が予想されるバイオメトリクス(指紋)認証を導入することで、情報機密保持にも対応。検査場など、10ヶ所以上に設置されたWebカメラで、広大なヤードをリアルタイムで監視します。



監視カメラによるコンテナダメージチェック

ゲート上部に設置した監視カメラでコンテナ天井部などのダメージ(損傷)チェックをおこないます。カメラ映像は事務所内のモニターに映し出され、カメラの上下左右回転やズームはコントローラで操作できます。多岐にわたるゲート業務の負担を軽減させると同時に、スピード化と人員削減を図ります。

本船積付けプランニングシステム

- コンテナ蔵置・REMARK情報から自動積付けプランニングを作成
- 本船接岸での接岸方向変更によるSEQ番号の自動振り直し
- 他社製プランニングシステムとのEDIデータ連携に対応
- 取込プランニングデータとTACTOS登録データとの自動チェック機能(コンテナNo.、サイズ、タイプ、ポート等)



コンテナの蔵置やREMARK情報を取り入れた正確な積付けプランニングの自動生成が可能です。作成した荷役SEQは車載無線端末へ送信されるので、作業効率が大幅にアップします。また、他社製プランニングシステムとのEDIに対応できます。

船社EDI

- IFCSUM、UN/EDIFACT形式のデータ連携に対応
- 各船社の独自フォーマットのデータ連携に対応可能

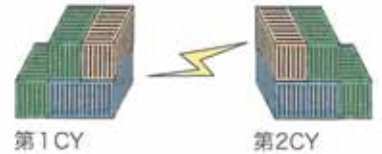
日本初
**1.25
Gbps**

80GHz帯ミリ波超高速無線通信システム採用で 自在な高精度ネットワークを構築。

Network



4thTACTOS導入時に無線ファイバー装置(日本初80GHz拠点間通信)を設置。これにより、3rdTACTOS時点では第1コンテナヤードと第2コンテナヤードのそれぞれにあったセンターを1箇所に集約。光ファイバーと同等の1.25Gbps通信が双方のゲートや各オペレータを接続し、多数のWebカメラの画像データも送信。バンブールやゲートのハンディ端末による省電力無線ネットワークをはじめ、携帯電話による搬出入許可の照合ができるネットワークも装備。車載端末は、docomo社FOMA通信網を採用。自由度の高い業務を運用する一方で、ヤード内アンテナが不要となり、施設費用を抑えることに成功しました。



ヤードコントロールシステム



管理システム

- 本船スケジュールに基づく、ヤードのレーンマスター
- ヤードのコンテナ蔵置(自動、手動による任意指定)
- 車載無線端末によるコンテナ作業履歴
(揚積、シフト、ゲートと回送のON/OFFシャーシ等)

車載システム

- ストラドルキャリア搭載の端末による、蔵置・シフトの自動作業指示
- 船毎での事前ヤードレーン指定による自動ロケーション機能
- 船側作業における荷役SEQに基づく荷役作業
- 陸側作業におけるゲートと回送のON/OFFシャーシ作業
- CY検査作業における提出・回収の作業
- 車載端末側での作業順番の入替え及び連携に対応
- TACTOSカードとの連携によるデータ処理

ストラドルキャリア車載端末システム

コンテナの蔵置・シフトをシステムが自動的に判断し、通信基地局からストラドルキャリア車載端末へ無線で作業を指示します。端末は簡単に操作できるように工夫、ドライバーの負担を軽減しました。また、リアルタイム管理により、荷役中のホットアリアリー搬出や横コンテナのゲート搬入が可能です。



Webカメラシステム

- 検査場、TP等の作業状況をセンター端末でリアル監視
- ゲート入場待ちトラックの状況確認



バンブール業務システム



管理システム

- 自社バンブールの複数個所に対応
- 輸入コンテナの空バン返却、輸出コンテナの引当て
- 回送コンテナの搬入、搬出
- 他社バンブールとのポジショニングによる横持ち搬入、搬出
- コンテナ在庫、保管日数
- コンテナのダメージチェック、メンテナンスとリース

バンブールハンディシステム

- 屋外使用の耐用仕様端末
- 空コンテナ引取り時におけるブッキングチェック
- 在庫、作業実績のリアルタイム管理
- ヤードへの回送コンテナ番号の即時確定
- 他社バンブールへのコンテナ番号の即時確定
- 空コンテナの仮番作業指示に対応



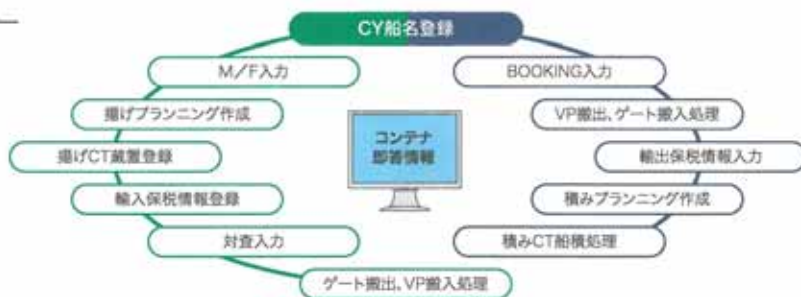
オペレータ毎に別々だったバンブールの管理方法を統一し、ハンディ端末を導入しました。空コンテナの引き取り時にブッキングのチェックとピックアップオーダーが確認できます。ブッキングのコンテナ番号の確定やウェブ上での確認も確実にスピーディーに行なえます。

公共コンテナターミナルを全統括する、高次元高速連携システム。



TACTOS基幹画面フロー

import
輸入



export
輸出

業務についてのお問合せ先

	東海運株式会社九州事業部	北九州物流部門司コンテナセンター	TEL.093-332-4660	info@azumakaiun.co.jp
	株式会社上組門司支店	営業二課	TEL.093-321-2761	info@kamigumi.co.jp
	株式会社ジェネック	北九州港湾グループ門司ターミナルチーム	TEL.093-331-3456	info@geneq.co.jp
	山九株式会社門司支店	海務グループ	TEL.093-332-4292	info@sankyu.co.jp
	日本通運株式会社門司海運支店	国際輸送第3グループ	TEL.093-332-6020	info@nitsu.co.jp
	三井倉庫九州株式会社	港運部太刀浦ターミナル事務所	TEL.093-332-5328	info@mitsui-soko.co.jp
	門司港運株式会社	コンテナセンター	TEL.093-332-1607	info@mojikoun.co.jp
	門菱港運株式会社	港運部港運課	TEL.093-331-8347	info@monryo.co.jp

システムについてのお問合せ先

	関門コンテナターミナル株式会社	ヤード作業センター	TEL.093-331-7160	info@kanmon-ct.co.jp
--	-----------------	-----------	------------------	----------------------

TACTOS開発事業者/株式会社 シスコム www.syscomhouse.com



門司港コンテナターミナル貨物情報サービス

MOJI PORT Web

門司港貨物情報サービスは、ターミナルのコンテナ情報を24時間、インターネット上で一般公開しています。ターミナル全体の詳細なスケジュールが無料で簡単に照会できる一方、乙仲事業者からのピックアップオーダーの入力や、ゲート搬出入の予約登録も、24時間いつでも可能です。事前に予約することで、コンテナ搬出入がスピーディに、タイムリーに実行され、ゲートの渋滞を回避できます。Webサービスを活用いただくことでセンターやオペレータへの問い合わせ、指示入力などの作業が軽減され、ターミナル運営の効率化とサービス向上が実現します。情報の照会や事前の予約は、パソコンだけでなく、携帯電話からもアクセスできます。

24時間

コンテナ情報を
ネット上に公開

①本船スケジュール照会

本船の月間・週間単位での予定一覧と詳細な動静情報を表示。

②本船荷役情報照会

荷役船の開始・終了などの情報をリアルタイムで表示。

③コンテナ情報照会

コンテナ1本単位でターミナル内の作業ステータスを表示。D/O、通関、荷渡し許可のコンテナ引取りステータスも網羅。

④ピックアップオーダーの入力

CY及びVPのピックアップオーダーの登録。輸出コンテナのシールNo.とG/W、REMARK情報等の登録。

⑤搬出入予約登録

海貨業者により夜間予約登録が可能。

⑥検査情報照会

税関、および、動植物・食品の検査など、種別に検索が可能。

<http://www.moji-cont.com/>


①本船スケジュール照会



②本船荷役情報照会



③コンテナ情報照会



④ピックアップオーダーの入力



⑤搬出入予約登録



⑥検査情報照会

ターミナル状況確認カメラシステム



曜日や時刻によってゲート前での待ち時間が発生します。第1コンテナターミナルおよび、第2コンテナターミナルの各ゲートに並ぶ車両の状況をインターネットの画面で確認できます。事前にチェックすることで、比較的混んでいない時間帯を選べます。

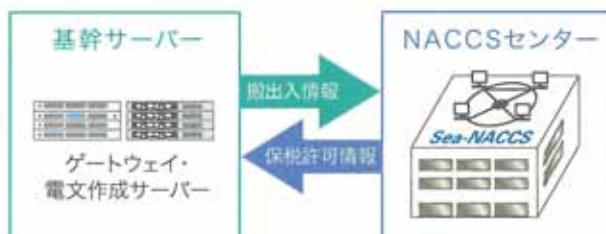
第1コンテナターミナル ●ゲート前 ●車列後尾

第2コンテナターミナル ●ゲート前



OLT/ICTの許可情報をリアルタイムでTACTOSへ自動取得

NACCS



ゲート端末とサーバー、NACCS(通関情報処理システム)センターを直結、搬出入情報の送信と保税許可情報の取り込みをリアルタイムで行うことで、スピーディーな通関を可能にしました。また、この情報システムを共同利用することで低コスト運用も実現しました。